いて他になき事さ私は信じま

の具体的事實に就ては個日上の論鑑さなるべき個々群

セ

(間西ペイン

(韓国國器)

(鐵筋、

(小野田)

その曇るわけはり の曇らぬ法 る時

海の外から

AFERENZIERE

五二三番二七〇八番地

(浅香象印)

(各種類)

8 六十月三年八和

絵をグリセリンさ少しのテルなくなる。眼鏡には。加里石 てから乾いた布でよく で連絡をさつて、市民の各家でルリン市では市内各種祭署

中も一種の途山物が出てるで と生じにがるものであるその でものであるその 者は此の念得知機出境に縮み明記されるご謂よ。泥棒闖入 方のハンドンを引くさ所轄等である。五吋四方の器械で下

車」が三角五角現はれ出した不足を補み質め、「井水引上ける選(去る郊外では飲料水の不足を補み質め、「井水引上ける」ので変原ロンドン

野菜相場

異な生事

丸大根

七り内地一五 胡って 内のカケラ 地瓜地ギ 葉 小大 コー ロ 五 Q. 弊店板場自慢の

置に用ひては却て精神を確

生もぴさい様に思ひます。

しはゼイタクが進んで居りますが、満洲には繊洲に限らず内地・同様

満洲に於ける食物衛生の

である事を疑ひませぬ。出來である事を疑ひませぬ。出來

満洲の衛生

城内村野は伏き古向ノほど野買賃借・仲太 水たきを始め 誠に乍勝手御用命の節 は二三時間前に御申込を 思ひます

浦屋東隣)

電話三九

をノーチツプタイムとし御奉仕致し就きましては皆様の御晝食の御便宜開店早々に拘らず毎日滿員の盛况を 一葉ランチ(紅茶附) 金五十銭 して居ます精々御利用の耳を計る為め左記の時間を散り厚く御禮申上ます

レストラン 吉野町三丁目(長春座前)

饺 各種印刷で製本 即小貴 北原紙店 三七三九

各種機械設置並に設計圖面

新京一の機械工場開業」

料理 ま

自建築金物請資格請資

取次電話二六四八番日本個事館前

北村みき



建● 築。 品。 金• 在。 物。 新京曙町四丁目十四番 庫。 部。 豐。

新•

鳥羽洋行

年級務外式式 耗所紙紙洋 品紙各襖名 筆女用文帳帳 理 類類種紙紙 類具品具面簿 店 金度慰奉封 跨學三丁製製 庫量斗書筒 寫校角尺圖圖 板用定定紙機 各衡水卷便 確器引紙箋 類品木木類具 揃ふ 新京で 番安い 番文具の 店は

柳 多屋 新京支店

輝やかしい 正確なお時計が 戦しい 社會への 新らたなる 入學・進級・卒業・紀念に 何よりのヨキ…… 第一歩に…… 部びの第一歩に グレセントです

科明治卿

種 撫 順炭

曙町三丁目二〇ノニ

番

務所水道係

新京日本橋詰 - 版賣泰 話二十六八番 利

類紐衿半向春物間小ビ糸縫 豐 小紐縫帶半 間 物類糸メ衿 富 を初めました側角角は 着 電話三〇九二番 新京吉野町二 荷 消便塵壁和|萬高事內和洋

交具と紙の 和併紙名製造元代 林

支店四平街



り、大塚久澄が二百五十高 り、大塚久澄が二百五十高 個の利益を得んさ十萬順の となが、引取人無きために目

で、因に清瀬一郎、由谷製冶 の瀬氏は午後三峰仏分尉去し た

骨拔きの

關稅改正案を

取倒中である。自費金の様供したもので、大阪等は目下物留たもので、大阪等は目下物留たなつ

常用日初開社 管業部 計画100番

一九〇二年の議定書は、北平 一九〇二年の議定書は、北平 で先立ち該感想女を誇らう

初の安那軍の豪語にも拘ら 桜中から承徳に至る迄は最 は世界戦史上其類を見ない

多の危険を同して具さに視り、日支雨軍師地の駅况等を競り、

特派員ゼームス、t ル氏は左 計機戦に従軍した新聞聯合社

別委員會は十五日午後一時四別委員會は十五日午後一時四號(從量稅、附和七年度法律等、昭和七年度法律の正法律案、昭和七年度法律を開ける。

高するさ共に、感想女を開祭し。 兹に纏めて本國に打

は十日間で熱河省全土を開 物碎されて丁つて、日本軍の もに支那軍は那の数の如く

(民)優震亮一氏(網园)大川斐

楽頭り可決し。一時四十分散述べ、探決の結果用案さも原

よれば、飲烈なる砲撃さ、 全軍包屋の中にあらざれば 発軍包屋の中にあらざれば

皇軍の神速な討匪外人の見たる

世界戦史上全く無類ださ

聯合のモル記者語る

記者ウツド氏 公平無私の立場で語る

せぬ事を原明したので、射撃6之を目撃しなが6一度攻撃

さへしなかつた

石河の線からは一歩も出なか。一巻の任務を果さなけ、飛行機も時々飛んで楽たが、一巻を以て之に當らし

人つて来た時、設前は三週間 機の任務を果さなけれ日本の のを以て之に當らしむべき か、若し諸権約回が該職道保 が、若し諸権約回が該職道保 が、若し諸権約回が該職道保 住民は群つて之をくんで居るには子供が遊んで居る。又其には子供が遊んで居る。又其 一九二〇年、張作霖が臨内に之が山樹鞴の現駅である 合みこなつたが。正金廿一那 付手形利率

輸出利付手形米國の東洋向 協定利率を

(大阪十五日酸酸酸)ニューロータ十四日酸住友銀行入電によれば、米酸の東洋到け輸出利付賃替手形の協定利率は十五日次の通り引上げられ、十六日より賃縮される事さなった

日本向、瀟洲向 (商率元分) (舊率大分)

意上程するこさでなった 急上程するこさでなった 急上程するこさでなった 美術品輸出 緊急上程 株式會社法案を可決確定し二時 株式會社法案を既設委員會に 株式會社法案を既設委員會に 株式會社法案を既設委員會に 株式會社法案を既設委員會に 株式會社法案を既設委員會に 株式會社法案を既設委員會に 大震管法案を可決確定し二時

取締法案

外務省異動

國際司法部

三桶久美氏內定

(東京十五日健園頭)此の夏 ジュテーヴで明かれる網際司 法部曾磯の帝崎代表は大審院 部長三橋久美氏外司伕香記官

荒木陸相と會談

る文けだ、一方支那軍隊は場つて機道は夏別山海闘奏具員

支那の消防診が逃げて丁つ徳の離宮から起つた大火は支那兵の放火さ見らるる承

清瀨、

岩鹽の密輸問題で

の機道を完全に破壊して了つ 那軍は山海蘭、秦皇島間九曜 をボクットに入れた、今中安 安に終て此戦道收入數千萬元

(東京十五日後間3)調民同一ない。 は、午後二年四十分貴族院内 の談話室で、荒木陸引き自見 いで、荒木陸引き自見 いで、荒木陸引き自見 いで、荒木陸引き自見 いで、荒木陸引き自見 いで、

ない様だ、此の外フォード會 社が原良の註文によりトラック百臺ガソリン六平ガロッを 協出したが、之は機員組合の 指令で全部大連に陸揚けし、 満洲両で買取つた 尚同様目的の契約がゼチラル モーターさも展行されんとし たが、聴工側の反射で不成立 に持つた、利敵罪に就ては研 に対した。

軍事參議官旨繼

がたなかつたのかね」 りつたけの戯をくれてやって違っ しかも大橋か非説主義なんだ。あ しかも大橋か非説主義なんだ。あ

た。そいつは参厳だつたね」 脚手は、弦に虱のて自己の機器で ないのだ

定 個 一 截 全 三 益 整 元 4月 全 人士前 都 院 一 4月 全 十 五 4 年 五 4 年 五 5 年 五 ル大ポ氏に内定してある なつたので領布局第一課 さなつたので領布局第一課 為替銀行利 電話三八五四

は事實だが、民間會社の内の以前の大は事實だが、民間會社の内

う一度電話をかけさせて見てくいか。態度どうかしたんだま。もいか。態度とうかしたんだま。も

うも悪なのさ。その音楽や常敏が うだし、狂人でもないやうだしね でもないやうだしね

であるではは非常に悪いな。一 であるではは非常に悪いな。一 であるではは非常に悪いな。一

賢えた。だが、一點、 作野は何識

京

二人はいろ (に機像したが、

しも悪くはない

といいかは、関下に慌たなしい

中谷時計店

立案されたものでないか。 民業の成績が悪いからこて 民業の成績が悪いからこて 民業の成績が悪いからこて でであるから本案に賛成し

(機工)

)須藤

秋鐘

凱

日

日案內

日本橋通報前

案は民衆教政を目的さし

本質に於て同じ

二十回りの一引上で ニューロリッ(番種銀行は金利 島鹿のため東洋向利付手彫利 をご分の一方引上げ、十六日 でも養支へない でも養支へない でも養支へない でも養支へない でも 荒木陸相

も悪くはないが本案

うに物げこんで、ドカリとあぐらった物がこんで、影楽の呼ばい、一種のや

後野のヒントを得やうと苦心する一般には、友人の難しの難しの難から続

『それで飲はやらうと云つてる。

を輸題さし、有馬農林次官提次いで製糸業法中改正法律等

「職手さんは、もうな得ちくたびれでございますよ」とが解は、樹と見ながら、 の解を見て、ほつとしながら、 を早速呼びませらね」と、並ちは を早速呼びませらね」と、並ちば

デが終かさうとでも)

合服の御注文は

、冗談ちゃないよ。 既は死に

「大きく出たね。……社られのが」

が、門面はそんな事には魅驚せずれておやないか」

ったに検合せてある他の目くされってはないが、か、独々がポケーをれがね、総既ほしくないとい

したんだ。原題に存

ヘアーし見をついてゐる。

水野甚次郎氏

荒木陸相 後等が諒解するまで延期せ を有つて苦るが が等が諒解するまで延期せ

鎖具一切

范花及生花

四十二一分散者した 『質はね、今さつき、途中で、

版米局第一課長杉下次耶氏は ・ 東京十五日穀櫃第) 森港橋 ・ 東京十五日穀櫃第) 課長西春 ・ 京氏は今回豫 正を變更されて ・ 京子 では、東京十五日穀櫃第) 最港橋

い目にあつたのでねる際版は比響はね、今さつき、途中で、ひ 自動車が微笑

をがつてねえ、解釈をなしい目に 「強調られたのか?」 であるに 歌歌の歌歌なんか始め 小生意象に 歌歌の歌歌なんか始め 『印境即自機の和の腕力は、数にあつちやつたよ?』 ロッキにつけられたんだ 「なアに、そんな歌ぢやない。ゴ てくれ給へき ・腕に熱をかけてやつて見る 節を受職さす位の意気込みで 開手は拠心の握さかだすや

| 元本やりな層にピクトくしてる。 できつと紹んだる が終。そんなことを世界にかけ が終。そんなことを世界にかけ

である。まつきも大感理に難して保 難しておいたよ」と、性質に難して保 かつけるのであつた。 後が受けて。戸外は恐感のやう いかへつて、ゆつたりとかぶね にかへつて、ゆつたりとかぶね ではしてるた。

いらくして、門ははやつと落ち 一季にしないんだからね! 楽場

師範 西田方山

是非御電話にて

話二元〇二番

晋理叮二丁目一番地

下番

事四

で使いといふ戦節の意識なんだ。 なかうよ。 成で、素素の脱納りなんだが、 単非地に一綱さしてもら 限するなべこむ。 東郡、大朝南新聞計發養政府丞報取扱

洋帳簿 各種製本事門 三金町三八九 三省堂製本所 東京 | 大鍋๊新聞

▲間型来が介入を表す数である。本人来職者の無料が介えまれた。

金華堂へ 三友社

東亞號藥房

日本トランス

音

店

各種自轉車 御

門匹

車

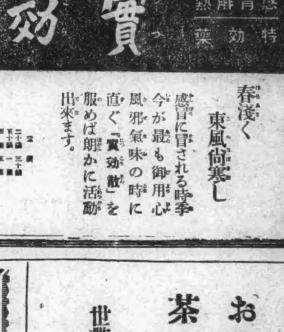
自

御薬の御用は 200 CO. 100





慢生者号。 ガンメンマヒ。共山原衛强直。關節炎。運動麻痺。脊髓關節强直。關節炎。運動麻痺。脊髓 並二電氣治療部 将王寺族路地二本目 & 入於半丁 新 京 人 舟 町二丁目七番地ノ四 通三 領八



商志。店

ほねつぎ専門 情水整骨院 骨折。脫白。絵裡。打撲。筋骨一切

喜峯口目がけて

上に〇〇部で以下の各部隊で 中の戦局は極めて重視されて 上に〇〇部で以下の各部隊で 中の戦局は極めて重視されて 一つも自動車で到着、特機の るる

孫殿榮は鐵子山附近に於て辛一け難しさ見られて居る振順は圍場附近に、李森青、一人か事態の闘いへの波方向に退却した。李芳亭、李一幸けつつあり、畝一度文。檀目新等は選早くを倫の一畝は瓊々集結し屋抗い

日満軍を誘き出し

各國引出し策戰

せしめ。平津の地を開る場を開

米圍政府

とる場合は利害関係の深

明限さするものである

定例日さなる模様である。 北の結果 中諮詢案の

*一方日南軍が顧内に準

長城一帯最明の奪還を試み

申請で到済された安全保障問 電縮の凡ゆる倫想並びに健楽 を提出す一帯である。右案は 元全にして且大規模の軍縮案 れたこさのないやうな極めて、転給合調に未だ合つて疑問さ

所で架盤するに決定して散すの結果第一回審査委員會は十一次日午後一時半より福府事務

蔣介石苦肉の第

東に乗り、提美式の率のる騎 東に乗り、提美式の率のる騎 東に乗り、提美式の率のる騎 を表した製練堂は三百の部下 さ共に偽化に居り場占側。別 文。機目新等は選早くを倫の 方向に退却した、李芳亭、李

事態關内へ波及

残匪の掃

日ならず完丁

支那側の 出様では

アク英首相は、十六日從來の ジュモーヴ到着以來各級化表

回審省委員會

十六日開會

巡事謝辭を述べ寛いで歌談七 こに對し来答を代表し田中副

人事往來

完全大規模な軍縮条

英首相より提議

峰口に探び、全力を乗けて軍 整一数ぐ氏め最後の一戦を喜 敗地・塗れた馬良が自己の奥

上に、核は二勝づつおかれ、 の手がフナワナミふるへる。 情報であるのも痛ましい限り 歌ん である誰こもなしに歌ふっこ はお词を与可単二 哀音 ・ は

日条使蔣作者は昨日蔣介石さーを見大危機に直面し来つたが駐の人民は今や對日端関係に於ての人民は十六日後國祖の北京の

の空氣がら見て感情を捨て

一會見一の原、日本

繰り返されるものご駆測されの線では支那軍の反撃が依然

を聴収する事 きなつた

午後二時三十分から第一回窓 十九日下審請を終り、十六日

試合に要請 金融制限権を

日十四日英緒大使リンセイ氏を制限し得る権限を附與すべを制限し得る権限を附與すべる

12日本四日英緒大使リンカ

臨時總會

民政黨に復黨か

太郎氏・後任決定のは、來る品代・株式會社々長故伊藤久品代・株式會社々長故伊藤久

監査役

社長後任首藤

會幹事)十六日午前八時來會幹專之一十六日午前八時來

▲奥村镇次氏(論戲審查役)

喜拳口戰鬪

吳佩孚只

相手にさ

の脅威は

日本中口部門附近に於ける。 我軍名譽の戰傷者 会戦死者 塗の戦死者 辻 沿

銃聲やまず

朝に至ちもなほやまず右は大塚東方地區一帯の銃砲駅は今間の日夕刻より他り始めた石門四日夕刻より他り始めた石門

目鼻が付けば

齋藤内閣は總監

附せらる

皇軍威謝デ 赤峰の住民狂喜す

蒙古人達の

日保定に終て蔣介石さ會見、し、新「北平十五日發調値」昨十四 「整領す を了し、同夜直もに北平に文の軍事狀態を報告、打合

際の指揮統制を一肝六日最誠態)陸軍で 納納其學校教育部員 補騎兵那二股剛是 補騎兵基期長

大信洋行支店

電話 完三二三四八番

豐

富

5

は無式を安心

買へる店

萬福麟、蔣伯誠 将士慰問ミ激勵の為

おおここでになった されることになった の如く任命 **るここに決定し十八日鞭表さし、新たに騎兵集國長を投け**

終ける地方部事業で密秘験係 最中西級恵氏は十五日年後六 最中西級恵氏は十五日年後六 滿戲地方部長 中西氏催宴 うで安心しました。

「山海師十五日軽城市」九門 口の西方一里の第一線にあつ 心正規率は若干の監視兵を残 し全部沙河窓へ後退した。情 がによればこれが補充の怪め まり瞬外に押出し日本軍のカ を借り一事に同軍を整理する 我軍不進出と見 日本軍の力を逆に利用して 男で已に磯血軍三屋を衝突し の手に乗るか否やは疑問であ の手に乗るか否やは疑問であ 鄭軍二千を葬る肚裏 へ後退 ル著。同四時十分學良の宿舎 人子國以十五日午後三時半上 に驚き皇軍に心から感心して に入つた 學良夫人 于鳳上海着

赤峰の市民

續々集結

學良軍長城南方に

質が北平に逃走した傷めた心 に着手したが従来赤峰に於て に着手したが従来赤峰に於て に着手したが従来赤峰に於て 機は帰順の歌を表し近く赤峰一の安定を続いてゐたが。最近 満洲國の善政に感謝 に帰るこさとなったので熱河 與業銀行管鍵で兼ねるこさは 現業銀行管鍵で兼ねるこさは 感謝の念を排げてるる

たくに御手はが出来ない 計長適任者さして、首乗さ んの出馬を静断し、なかな が緊重が、かたかつたが、 他の程準く承知して、 **小長代理山田御冶氏談** 臓監査役の後氏を選定す が代理さなりましたが。 伊樹さん、近、なつて惜し

場内左記販費店にて御顔

互细全点

キリスト蔵禽前南入ル

日華洋行 電話ISOK香店 伊藤商店

純洋風ハリウツド式

新常級町一丁目六番地二新京中央通大阪屋號 4横町

事に決て、臨時機會を開催す の屋乃花いしいお

錢拾●個三克

御料理 出來ませんが宜敷! が宣敷! 美

東三馬路五十四號

貸家及間貸求日本石油株式會社 明東一條門10

土地家屋紹介處

手打

古希望者へ至のではへ 一、世帯道具及オモテヤ店 一、世帯道具及オモテヤ店 カフエー開業ニ付き女給政治至急入間

急

新京日日

區委會事 Dai 自投資以所

及少佐(新義州版兵分段

去る大日月都新京警備の傘い機性ごなられた日高、李明刊等を致しますから市民各位の撃き御局情を舞踊ひ致します。 一、 推 切 三月二十五日限り 一、 推 切 三月二十五日限り 一、 1、 他 切 三月二十五日限り 一、 1、 他 切 三月二十五日限り

殉暇警官の

國境は即ち長城也

二種の多きに上る 右不正地圖の處分方法及び今後の取締方に関し漸く次の如く决定した しこれが善後處置に開し十四日以來種々協議を重ねた結果十五日午後には許より關東軍司令部、憲兵隊、警察等各關係當局において由々しき間滿支國境を長城以北熱河省内にさつた不正地圖以賣の件に關しては滿洲

初京·李察著 即 P

金時情なら廿一

満兩國とも發會販賣禁止

正確なのは

最近無貨乘車煙管乗り等の不

で行ふ

剛後二回に亘つて

貫金屬商

に怪盗

鐵嶺間

に決定し居り其り後日嶺南湖即ち蒲州崎々境は建岡雷時氏

此際徹底的に防止する事さなので、 り、二十一日より五日間峻嶺

使防止

列内にあつた。同店の陳

巻は計り型一個四十八回、 理側様中で計トンデン一個 以外後が計一個百二十回。 クローム側六型腕後が計一 のローニ側五十段。 クローム側六型腕後が計一

兩國市ケ谷

直,省線開通

市内日本橋(十九番地食を属)市内日本橋(十九番地食を属)

八型一個四十四国、金物院

同一ごえられてめる 機の事情がも推線して犯人は 関八十銭をも窃取されたが前

子たる琪墨に出づべしさ

照會した動士大日附たの如く部に對し正常睢岡 指示方を 財布紛失

が文化協。 徒 『最新編/物図地 しては昭和八年八月。 大連備 と確なる朝境線による地闘さ

間による小林又七商店便行

內瞎町五丁目四番地間組出 イに疑ひ 慢中時計十六型一個四十七一個六十六周、クロームが

生產黨員島德藏耶へ

合計十二個サフタ人六百五十一十六個 八周五十銭を巧みに窃取さ

歩行中に

人要昏倒

死出の旅

「胰島徳蔵の外を祀す」さい 邸島徳蔵の外を祀す」さい 邸 生産薫員機岡崎隆が十三名は 士 棺桶を擔ぎ込む

| 20世紀 | し新京署に は何店は去り、六日午後二時か も無五時の間に前紀陳列内に かった腕巻時計パリネ製十型

森伯呼君宣作頭。 甘榛谷合棚 東三條湖和甲慶次県の妻女モ 東三條湖和甲慶次県の妻女モ

様をかつぎぬ賊院管體感徳岳 かへ乗込み、邸内へ右品々を 投込んで引上けた

最行のものを正常さ認め族 月九日南福洲磯道株式會社 別量部 製及び昭和八年一

正常地圖を指示

好む色と文字の 一天脏。古化。天。 大佛寺、薨子、數子、五花洞大佛寺、薨子、八士、四学、誘汁大郎、古化、天、三義、統女

爾洲國全圖附新京市街全

▲漢氏族生産の

大彌洲蝎飾圖昭和七年

(二) 花鳥組 月佩駕案九天两貨。

文明。美人、年佛閣。

金中浮竹葉。人而以桃化

梨化人夢、索耶無樣 助中無確、

昨年八月から本年一月十日ご新京白貨店を展開附稲(二)は

析京に舞戻る

下で奉付に決定、此の程上奏特別大演習は十月下旬福井縣

ア行車に属する打合せを行ふ を乗ね大流費に殴し大元帥陸 人名 ・ 社会事業視察

梳辮呈胸采。 與

祀制三加重。元冠白體和 人間世業期原何の科明以上生涯で考須防秀餐 春往冬。既安且首 、巧容天工

210)g鏡

(化一) 陶磁

旅友三軍婦

(十九) マフテ

頁氣無然能引火、生光原不藉

部説"涯多粉物" 便兩樂可提。仁風左抱

T.代常爾紫拖盆、图君妙爭議8君常順们。 喪稅縣汝臣 我一系不荷。**知君到**臨年先 九天能奪月、鄭瞳一定詩

は最傷を負った

今秋の大演習

十月福井縣下で舉行

手癖忠いボ

愽手田清早(計2)外乗答比四名人、常市洋領簽々大敬し、蓮 に譲車は常月のⅡ… - 淫く吹

せ感激いりはありません

章

OTHE

市務州電车科式會社

機器三七〇三番

0

官吊一萬吊

前記場所・落したるを。 登見十二番地林川燁(三七)は去る九日午後三時頃。 自宅前路上を通行中の客場車が吉林 吊を通行中の客場車が吉林 吊を通行中の客場車が吉林 吊

東欧新服止帽の参続報送順か をひそめやつさ安心 こ思ふ

□ 105 th 単一 を開発を着た条統 を開発を着た条統

東三馬路の出來事

米國生れの

部に人らんごするを斷るや前者した場別人が、無理から内を見かた支那是衣を 出し、断る王に発砲を譲から取

一胸出 に貫油焼剤 に貫油焼剤 に直浦統創

邦人母國見學團 満鮮も視察して認識 を深める

も延ばて管、自一行はハイス も延ばて管、自一行はハイス **州一日横濱入港小野船比叡丸**・到着之に續にて六十名が四 | 「東京十五日稜湖通」米域生れの日本人第二世の母岐見郷 の感得にあるのだか。時節柄もが、目的は母戚の精神文化 であるさのこまだが未だその いの性致され、同語は小鋭症 の性致され、同語は小鋭症 の性致され、同語は小鋭症 位の群地はない ピル市に 大旋風襲來

まる

六家子驛附近で ルの男女學生選である 拉致さる 邦人數名 「ナッシピア十四日及滅通」 中四日夜突如常地一番に大旋 原類楽し死者十八名、資傷者 送電を中止

業中の邦人数名去ろ七月以来 家子時間近に於て土木工事從 、 十六日年前十一時三十分より 十二時まで軽単所メーター検 の事故もなかつた

粕壁驛構内で 貨物列車電車と衝突

十五日から開動した 市ク谷間の庭・明省線電車は。

下り伊勢崎行き第世七版念行的の臨時貨物列車第十二號な、の臨時貨物列車第十二號な、竹盤解構内で線路及替中前方が多場合して来が改革雷門が 日午前九時十五分頃東武線埼(腰ケ谷十五日麓戦略)十五 重傷廿四名を出す カまで奉天 膝没町十六番 的步

殿下より 北白川宮 十五日午後四時平去 大調大鈔件幣件票 けよの銀相場

元華さが前所突。これがため

御り舞電 中平大尉に 告 老· 李 龙 宝

TEL 38-73

能放及会族也 中大日均降左記/ 讲要是仕族 能放及会族也 新請負人 新請負人 所編洲總道株式會址 所編洲總道株式會址 所編洲總道株式會址

調整前

新京驛……城內南關门

⑥市内線

町二丁目で開始順に参照った でも終日やその場に打倒れ死 でした。屆出により新京署か も係員中市警仰の診断の結果 の機・領域を表め一 して書かれたもので研京商業なつた、同野は新京に馴染深 が二十日より投資される事三 柳枝数師田宗和夫氏の筆にな

大尉は殿下が士官候補生である後の個所は迫量砲弾が尾尾の選入さして聞えてるた。 衛

中野高等無線電信廳

出傷である

石かに窃取るのにあ

叉も拳銃

奶强盗

發砲し

し負傷さす

ガロで京が目が配見

課挿した

怒がベルトライン

室町

森野伊丁餐打の「機関の橋」 「護國の楯」 田所氏の力作

り、事變何の機関、事變精・ ・ の、事變何の機関、事變精・ ・ の、事變何の機関、事變精・ ・ の、事變何の機関、事變精・

尾崎咢堂 課官を見限る

御厚宮御高配ラ深謝も併せテ驛知名位ノ柳健殿ラ朝祈り申今般本溪湖地が事材所勤格ヲ命セラレ雄、ニ際シ 在家中ノ

三月十大日

田

增

太

惠

「東京十五日 最過過) 尾崎等でははいっている。 ・はの数 氏砂薬 一陸家に入り ・はの数 氏砂薬 一陸家に入り ・はの数 氏砂薬 一陸家に入り ・はの数 氏砂薬 一陸家に入り はしってれるの間を出さない だ。

男子二十才以上日給二圓五十錢

競馬事務員募集

女子十七才以上 日給 二 國

ッ、ユレテフ氏は明日午後3 ヴイエート大使コンスタンチ の東京十五日最幽暗) 新任ソ め大臣に招待されるこさせな ロシャ大使招待

右希望ノカハ至無段証書持事來談アレ

新京三笠町二丁目)四

新京競馬

樂部

オリンピック後の歌洲陸上競技會は、その充真に全力を登してるる模様で最近観點陸上 ・対音線を開いた結果、一九三四年度が6%東入台の様に四四年度が6%東入台の様に四四年日毎に歐洲選集権大台を全 移轉御通知

経上競技解題の負表に依れば「東京十六日雙續刑」大日本

歐洲陸上競技會

益々活況

御引立御『導の程願上候 朝日派督繼縣校員

東京樓井製品代理以近東京樓井製品代理以前 金材料 印刷 旧品品 医鱼物土工用品 三星洋行

ス營業御案内

単してゐる。

横大會を一催するここさなり利でも來る九月的際學生選手

寬城子 南嶺行……婦……南嶺間 終車後五時…南嶺峡三時半 所要時間……二十分 ⑥ 郊外線 ……金二十段

0

杉

又驀進!

急

ス嬢聲援

電話三人四大學

愁

の針をとめて、から歌つた。
もう四十の観に手が聞いてる市太夫に寄つた。
もう四十の観に手が聞いてる市太夫に寄つた。
るが、それでも四人の既とは思「心の魅した、さらは」
そがて、老僕、佐平に柴茂さ 喜六、助太夫も難いて観力に反れて、解釋は被折足から、雅石を打たして並ち上つた。
「卒頭ながらお脱れ申します節は立ち上つて、解析に取財をが、常思赤線は、静心密で静率あげた。
が、常思赤線は、静心密で静率あげた。
が、常思赤線は、静心密で静率あげた。 いますか?」

「地域を対して、ない」と、ないりといる場が、変換を発揮できない」

「地域を対象をであった。

「地域を対象をであった。

「地域を対象をであった。

「地域を対象をであった。

「地域ので来たのであった。

「地域のがない」

「地域のがない」

「地域のがない」

「地域のがない」

「地域のがは、測集を立て、運んだるであった。

「地域のがは、測集を立て、運んだるであった。

「地域のがは、測集を立て、運んだるであるでき、地域のであるがと、地域のであるがと、地域のであるがと、地域のであるがと、地域のであるが、、別に続うながら変調を対した。

「も前はいからが、対象に対象を対して作めるなど、地域のであるが、別に続うながら変調を対した。

「地域の方がに関するが、対象に対象を対した。

「地域の方がに関するがら変調を対している場が、支触 の針をとめて、から聞つた。と、お節は、縁ひかけの老輪の格か?」 版太光程御依

は漢が格はつて雪ひませずまいと心御ますが、気の縁ちは河守なれど、姿で削るされるやうな不聴滅の振期は独用かは存じませぬが、段が、孫永順に限つて一太刀で殺が、孫永順に限つて一太刀で殺が

門司、神戸(大阪)行 (毎傷数日午前十時出帆) (一年内) (一年内) (一年内) (一年の) (大阪商船出帆

●九紫の人 選号鑑売れば 恵るほご聴きあり萬般注意

るため、 で、内臓のお際と際してみるので早渡さんであた。 は、五年前に瞬時の池田家を渡、「保ならぬお宅の若見が響、自 は、五年前に瞬時の池田家を渡、「保ならぬお宅の若見が響、自 人してから、近しの級を纏んで、毛のお嬢さんとは縦旋のある様。 様左者門の宅に厄介になつてる大熊標でございますので、取る を、これたといふ老武士だつものも取りがすお印らせに上つ る 間、耐な夫といふ老武士だつものも取りかすお印らせに上つ る 間、耐な夫といふ老武士だつものも取りかすお印らせに上つ た大寺でございますの一厩お取り た大寺でございます。一厩お取り は、背戸の原物で、要素を射ての溶れが向と、お敷かはしいが定される下つてみなかった。も数したやうに見受けました。まだ娘から下つてみなかった。も数したやうに見受けました。まだ娘から下つてみなかった。も数したやうに見受けました。まだ娘から下つてみなかった。も数したやうに見受けました。まだ娘から下つてみなかった。も数したやうに見受けました。まだ娘から下つてみなかった。も数したやうに見受けました。まだ娘から下つてみなかった。 巳ご癸さ丑が青

近行さ思えて辛地すべき B 近日を除くの りても外に伸ぶっ所あり吉 意りの失敗が招くべし 甲谷込みするさ

■八日の人 準領占に向って 際け行く日本弘彻店なき古 乙マ辛ミ戌が吉 丁言表下寅か吉 口舌を聞くよりも内が安全 七赤の人、内を能く整理す の働くさきは大吉さなら

きら人の和はあり進んで青

あなたの若さ 美しさをし もつと岩々しく もつと楽しくする 魅力の精 クラブ美身クリーム!

エ・粉白色肌プラクな ・粉白。色水プラクなクツシ・粉

新

柄

豐

合

服

機械暖房衛生工事設計請負

新京日本橋通り七拾八番地 近藤商會新京支店

水道暖房衛生ノ修理…

電話三二八一条

電話三〇六六番地 三〇六六番地

和願へパ早速参上致シマス

料料 商 松 線二進出セル店

○色合は茶と縞物が大歓迎… 田 洋 服 店

帝都大流行の私のなななななななない。 新柄 富

自 物 陸

昌圖公司新京支店

東京富士町五丁目十香地 東京富士町五丁目十香地 本 青大連市 武蔵町

引越荷物 荷造 誠意、努力、

外洋服地並附屬品卸

目種業營

トリック寫真や

はあったが結局無い袖は撮る ・成めつたが結局無い袖は撮る ・成のつたが結局無い袖は撮る ・成のでは、成のでは、のでは、のでは、 ・成のでは、のでは、のでは、 ・成のでは、のでは、のでは、 ・成のでは、のでは、のでは、 ・成のでは、のでは、 ・成のでは、のでは、 ・成のでは、 ・のでは、 ・のでは、

ま重役の憧憬談 某重役の憧憬談

満鐵の襟度を疑

お得意の與太記事で

今日白米

米國代表を加 **聯盟の諮問委員會**

のユチーツ十五日菱城市) 日支問題に関する聯盟諸問の国を討論し、結局ノンウェーのランゲ博士が議長に選加した、次いでペンギーが議長を離認し、直なにスイス群割不成のした、次いでペンギーが議長を離認し、直なにスイス群割不成のした、次いでペンギーが議長を離認し、直なにスイス群割不成のした、次いでペンギーが議長を離認し、直なにスイス群割不成のした。次いで表決に参加せざることを條件に會議に出する聯盟諸問のユキーヴィエリティのランゲ博士が議長に選加した。

動をさる可きやを機構し、之及第二分科委員會を任命し 他し様更向け武器禁輸問題は此れ以上論議せられなかつ に對する参加方を申し込んであるのに對し、如何なる行 に對する参加方を申し込んであるのに對し、如何なる行 に對する参加方を申し込んであるのに對し、如何なる行 に對する参加方を申し込んであるのに對し、如何なる行

脱退處理案の 樞府審査委員會開く

思緯法制局量官、金森同第一 に敵職する事さなつた 風動してるる に敵職する事をなつた 、政府側より登勝首相、內 徹底的に政府の方針を検討し ん等さ大々的デマを飛ばし居中沼雲員長以下各委員二上論 員の質問に對し福府さしては 送る、これを群衆の観に供せるの事業の個の事業委員 は 相、內川外相より勾諮詢に至 寫真を掲載或は日本軍は騎兵退臨理案の楊府審査委員目は 相、內川外相より勾諮詢に至 寫真を掲載或は日本軍は騎兵退臨理案の楊府審査委員目は 相、內川外相より勾諮詢に至 寫真を掲載或は日本軍は騎兵正式 京東京十六日登成場)帰盟脱 各局長等出節して野頭震勝首 さしつけた支那兵のトリック 松田條約、谷栗細栗の制筋長官、金森同第一

【山海観十六日最観時】山海橋方面の支那軍第二防禦線沙河の陣地は引着9多数の兵士及若力によつて工事機積中であるか、右は一種の逃亡兵足上の策さ見て我方では大して気に止めてるない。何柱域は目下海陽鏡にあり保定方面よりの指令を待ちつて、只管部下人心の收攬に努めてるる

逃亡兵防止か

政府の方針を徹底的に檢討

(天津十六日菱湖山)路個に 個人した蘇炳文、僧馬占山豊 殿九等一千五百名は、はるば るシベリヤより浦棚に来り、 支地湾船招商局無羊に便楽し 大なる歓迎を受けて上陸。直 に特別列車にて琥油出使、一 部は天津に降つたが北半に向 がは天津に降つたが北半に向 がは天津に降ったが北半に向 がは天津に降ったが北半に向

馬占山 蘇炳文や偽

ださいとこまで一般快主は

ー、領域の整理資金貸出十0 なつた。19野坪室なるものに変に似つて整理さるろこさ (年三分)

一、個東總・特許料金二系を之れて舊信託で赴き合併を とれて舊信託で赴き合併を を其據込金十二萬五千圓

「東京十六日優徳徳」聯問脱 た、本日午後一時半歳々第一で引續さ単締長官松田、谷の 荒木陸和、大角海和の出席を開稿者に関する福州下審査官 福深院側は曹糠穂理、内田外間高長県出席し審査して下審 求むらほず

審査終り

満鐵の債權整理で

新京託托受難

青息吐息の重役連

頻に善後策を協議

北京に戒嚴令

夜間交通は絶

せ散信した。何しろ信托官社 さしては近年打機(不及にあ 6 切る経費を締約し人件費の 部首して二人ごし條準の締約 を断行し喘ぎ(、やつご言社 であ版を繋がであるこここで

・云本こさになれば結局會社は 作機不能になるさて重役連何

に努めてるたが日を逐ふて を職人増加の質績を挙ける。 は発達しながりを

聞きなる回避を観民の自事

調稅 繳 稅 內面稅

一龍之一 西債権の整

滿洲國

歲入實績

極め

て順調に運ぶ

領選不限行の含め領域から

一大の一を受けると

會社も金融を社も一齊に經營 有望親された在論機多の企業

主張は仲々報硬であつたが 見した、こういふ大きなが 使した、こういふ大きなが か十萬関出すのならば単語の外質を補塡して独住二十萬間のならば単語の外質を持続に 貸附に依り取得する種利をけよう、而して領域が十四 券は三十萬圓を無利息では

壁を極めてゐる。過般変形 ひる人絹織物の護出ぶりは のミ明待されてるらに入れば非常な哲学な り触入される隔逸。米を膝になつてからは同

小麥生產統

供さ此の問題を討職して非公 の問題の統制を企闘し、 気に の問題の統制を企闘し、 気に の問題の統制を企闘し、 気に 貿易の振興

より頗ら顧勘に選び者を徹底を一月までの歳入り額は次の **A**1110

新京市况

ち、歩いなっとのないやら失ふやうなことが必要である。 をお、根互に光分の職権状態を一にして実際に たならは、職出質易の提覧 たならは、職出質易の提覧 大 気 と 気 象 生 大 気 と 気 象 能強大大 東鏡大 段 五 各地市場 一世紀

御採用 四事 **生**交を充 るとの基 僅かの戦気料で卸飯が美味しく炊ける 电気コタブ 文化『かまざ』 氣の店 ご保熱釜





大五四三現 月月月月物 阪限限限

中 央勢力の 進出を軟ば 蔣介石、懐柔に努む 策放地さして概要の地の理ながに同社の大株主である議院 外に同社の大株主である議院 B

語腹を切らせて北支は蔣介石の単中に歸したか、東北電並びに傍系軍には中央勢力の進出を快させず、「北方人の北出を快させず、「北方人の北出を快させず、「北方人の北出を映るするる、又面線終士の戦気に、一大の東西にこれか懐柔にいるる。又面線終士の戦力に最近にあり、各方面にこれか懐柔にいるる。又面線終士の戦力の大力を発展して、大力の大力を表して、大力の大力を表した。 士を観問せしむる質である 一本日は蔣伯誠、萬福麟をして 一本日は蔣伯誠、萬福麟をして 一本日は蔣伯誠、萬福麟をして 社をもり立てるこさになった のである、然らば其整理方法 を如何にするかさいよこさに なつて一般株主側は株主の自 は内部系を主張議職は論・観気 を周持して對立した。 あるこの見解の下に、信托あるこの見解の下に、信托 満銭 から見て 自に法たいで か一萬五千風となったが何し
か一萬五千風となったが何し
く休止狀態で殆んざ

満洲國の國際郵便協定参加

第二分科會で考究せしむ

「天津十六日養調通」新郷に 関係上。今回郷介石の除元保 定に移されるに決定し、委員 は昨日既に北上した 保定に移轉 蔵氏(現在毒瓦斯盟國に回聊) 備さしては大阪財界の経鳥而して化株を自由決裁案の

整理一直為金艺 「東京十大日登講師」外調賞 の官制原案の作成を念きつつ は實さなつたので大蔵省では い方針で遅くさも果る四月中 能質さなつたので大蔵省では い方針で遅くさも果る四月中 を変更を表しまする大蔵省の 知頃までにはその選びさなる な

新京祝町四 電話二二九七番

八七六九四項月月月月月日限限股股限物

臺川

八七六五四**現** 月月月月 限限限限

COUNTRIES

本品の獨り舞台

小麥輪出頭たる米別加奈

大源舞台问

五月月限 四月月限 三月限限 小 全30 二三月限 1三月限 1三月限 李金公司 三量



新泰洋行 各種炭販賣

金牌受領滿鮮唯一 竹徑齊



欄 横濱川川 表 大阪期米 (大阪期米

はるばかりでなくまるで高知

四一十銭さなり一方正金か

の信託不祥事

る其後間

金のははいいのはい

1.01100 1.01140 1.01100 1.01140 1.01100 1.0140

▲神戸豆粕

□ 当 日本向 当 日本向

爲替管理法案

の見るべき

●大連特産 HAN

家屋御新外設計ニー 乞御指定

=

25

(=)

さても不思議!怪事件發生 新京局腦み拔 體何者?

何れへ消んであるが事件になっ諸官人りさなつた 深に没頭して害るが未だにその偏緒を得ず、不可の小質科技取の怪事でが發生したので教 、果して道記人は、新京郵便局、新京

さに使用されるのは半分位のあるが同方前は路地多くほん からいよく 一般に貸りかませ

最三萬六千冊が議洲事要にも 北部には外に老常六萬冊もの たびには外に老常六萬冊もの なさりだから、これも見たい さ思ふ、又来天にある川庫全

変もに筬脳に向つたが左の如 ・ 本日入港 パ・カル丸で著選

消人を誰何せしにやには 徘徊中の集動で寄なる!

二人組

かきこの意味のの

「四中街支給等」梨樹隆

二名捕る

永井新駐獨大使

の延明を承認する事さなつた。

十文字度仕立のスマー

下なる

志は全く前りかです

作展五私邸に協議される太古 (大連十六日静岡県)旅順の

水野氏、旅順へ

梨樹縣の賊

見込みである

なほ挑戦を繼續せば

斷然膺懲せん

喜峰耳の戰闘につき

陸軍當局發表

小林作家の

神く幼稚な子供である。 雲珠 果して真犯人は何者であらうさえ知れず、然も其の薬跡は て善る事質も判明してめるがておらず行方不明で真疑の程 を組み日本原動で書習をなしておらず行方不明で真疑の程 を組み日本原動で書習をなして過程制明した、然し回肛腎炎町に に爲替。 物習をなさせた機様

大村氏は寄野派の給仕池州基

るものさ和江さんは直ち ない。さては不思謝な事が 職が宛名人が受取開封 金額は僅かでも 非常に心苦しい思ひ

くに思つて居られる様子だくに思つて居られる様子だ

右について木村野使課長は語一

憂鬱の木村郵便課点語る

した答の該小気替が十三日

禰鐵の新住宅區に

岡店街を現出

來る七月ごろ一般に貸下げ

住宅難緩和されん

る、係員についても詳細な者は居ないき確心して

な取調を行つたが何等怪しな取調を行ったが何等怪しなかった。 然しごう考へても不思議な然しごう考へても不思議なが重犯人が奉けられぬ間

は成三千名を以て我に向ひ攻奥し安しさして十三日支那軍 日の戦闘に関して陸軍では「東京十六日後巡判」文條 し長媛原上を超えざるを日が順心を開発が開め

は依然同地を占護し、増帯によれば事質は反對で我が部

天幕生活をつい

若人三名が野菜耕作

公主領の農業實習生らが

けふ愈上

6仕事始め

ご繊維社様道用地を借り受け、消費の誤解の下に素家情化方

張なつた一行は酷寒も恵

の地割が整想されるのは肚宅の地割が整想されるのは肚宅

鍵のかもら卒気を吸ふ事 小學校の卒業式は室町校が二一 卒業式 兩小學校の

のつて居り極東省舎三百号・

さな安

幹事挨拶

日本軍 軍紀嚴正複り 0

行動は立派さするに足る。 時現金支拂を開行してゐる一般被員に對しては住民に即

光療法でよく治する。日光で そして此の日光は

で行はれた、此の日は李王、竹の思召しに依り外交官鴨獵湯の思召しに依り外交官鴨獵湯

衛生、道徳。の理法に合致す

正しき生活。即ち是

に合致す 話さなるものである。 に合致す 話さなるものである。

的の事實に就て一

外交官の

満蒙進出發展の原動力

自力更生の道は

安價生活にあり

音等博士 松浦有志太郎

6切らぬ有様だか

線道路二本を敷いて商店街さ のため前配新買收地内には幹

この商店街

一着手」はならない

もれるこささなるのでそれら

ち。夜十二時過ぎても金のかかる赤い青」の般なご澤田つけて一時二時三時迄もなにかやつて書るのは、不經濟、不中で、不須徳の生活が多い。

米國民、

好感を抱く

6十日間を試験休みさして 高等女際校では二十八日 新京商業學

- 大連から轉動し 動のだ

&.Cafe ストラン 箱根 An At hours TEL 341910\$

切封日七十 Ξ

各種印刷を製本

忠次ご三代太郎」 柳 朝 市 3 井 Ŀ 門 堀 E 81 正夫 主流 10

春 ウゼ 0 服 豊葛 用版 月段 0

店

T.

文字

電話ニセ三の番

新京女學校制服

調製所

満洲國を視察 赴任の途、大連で語る のため十六日学後な社楽訪のため十六日学後な社楽訪のため十六日学後な社楽訪

年入港のパイカル丸で来達、 村和#テルに一泊。十七日午 前九峰「はさ」で新京に向ふが 経由赴任の途、本日午前八時海大使水井松三氏はシベリア 遊資過剰の

端洲崎を頑察して行く。任 ベリア経由のついでに新興 大連は十年振りである。シ 由を持たね。然し帰盟に対いても語る自訳いて語る事は差換える。 に着く前に洞逸のこさに を踏んでけく浴だ を語らなかつた 既成の事 日銀手持證が「東京十大日蔵は新り日銀手持證が にあるので日銀のオープン、 の残額も近く資価される状態 の残額も近く資価される状態

探

シ

共信

是 Comman

5合合領定であったが非合体 町の勢機群は昨日年後三時か で急死した左翼作案小林瀾次 では禁止したる人無の 勞農葬 かる場合は規制の債内が半利なる際である。日本素局は新なる際は、日本素局は新 ものに放資の道を求むさ見て

對支售債權

布輸出高左の如し(草位干平 は會調査によれば二月中の線 綿布輸出高 月中の

國道局事務

村営し、二日が日際、三日が で、二十九日から三十一日を 三日間が試験休みであるが本 年は一日が前線創立紀念日に 三月三日附公報を以て官制の公布を見たる総道局は十四日公布を見たる総道局は十四日公布を見たる総道局は十四日公布を見たる総道局は十四日の大工事務を開始した業務は四日である。

高 ●銅鎖輸銀力細工●

K -京 泰 の腫物は切開せずして治療し撥痕或は機べし其の他瘍、チョウ、セツの如き一切でし、神経痛の如き容易に治し難きものでチス神経痛の如き容易に治し難きものは、 能障害を胎すことなし

で 熱セキ止メ肺 炎の妙勢あり 鍼灸帥 音光 動七等 出 堂

新京塞町三丁目七

型 療 光 光

既製洋服、既製靴 中折帽子、鳥打帽 中折帽子、鳥打帽 断然フレツシユで

即小費 北原紙店 夜畫曜日間日 塘 \$ A H 庭 俱 Z 部 連載 右 H 7 吉川彌手 崎弘 奉和 \$ 3 桔 出 共演 训 座

が構造して味い 買公言

E

鬼才小郎安二郎監督の記録的神品

本本 だ二五十

松竹キネマ封切二大名畵公開 田高梧原作脚色

H